

生駒市教育大綱の参考になる
教育振興基本計画の記載内容

生駒市教育大綱の位置付けと期間

- ・第3期教育振興基本計画期間中に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と国際情勢の不安定化という予測困難な時代の象徴ともいべき事態が生じ、我が国の教育の課題が浮き彫りになるとともに、学びの変容がもたらされた。
- ・少子化・人口減少、グローバル化の進展、地球規模課題、格差の固定化と再生産など、様々な社会課題が存在する中、Society5.0 を見据え、これからの社会を展望する上で、教育の果たす役割はますます重要となっている。

生駒市教育大綱・4つの特色

関係者や市民の「協創」による策定

- ・目標⑯ 各ステークホルダーとの対話を通じた計画策定・フォローアップ
- ・教育振興基本計画の策定・フォローアップにおいて、子供を含む各ステークホルダーからの意見聴取・対話を行い、計画への反映を行うなど、当事者の意見を取り入れた計画の策定・実施を推進する。

成果と課題(現計画には記載なし)

- ・PISA 等の国際調査において、高い学力水準を維持
- ・GIGA スクール構想により 1 人 1 台端末と高速通信ネットワーク等の ICT 環境の整備が飛躍的に進展
- ・小学校における 35 人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等の教職員定数の改善と支援スタッフの充実
- ・通級による指導に係る教員定数の基礎定数化
- ・幼児教育・保育の無償化
- ・施設の長寿命化や耐震化などが一定程度進展
- ・いじめの重大事態の発生件数や児童生徒の自殺者数は増加傾向
- ・不登校児童生徒数は増加
- ・学校における働き方改革については、依然として長時間勤務の教職員も多く、引き続き取組を加速させていく必要がある
- ・採用倍率の低下や教師不足
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組は全体としては進んでいる
- ・社会人の学び直しが十分に進んでいない
- ・学校施設については、老朽化の進行や多様な教育内容・方法等への対応が依然課題となっている

基本理念

【総括的な基本方針】

- ◎持続可能な社会の創り手の育成
- ◎日本社会に根差したウェルビーイングの向上

基本方針

【基本的方針】

- グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- 誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

【教育政策の目標】

- 目標① 確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成
- 目標② 豊かな心の育成
- 目標③ 健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成
- 目標④ グローバル社会における人材育成
- 目標⑤ イノベーションを担う人材育成
- 目標⑥ 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成
- 目標⑦ 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂
- 目標⑧ 生涯学び、活躍できる環境整備
- 目標⑨ 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上
- 目標⑩ 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進
- 目標⑪ 教育DXの推進・デジタル人材の育成
- 目標⑫ 指導体制・ICT環境の整備、教育研究基盤の強化
- 目標⑬ 経済的状況、地理的条件によらない質の高い学びの確保
- 目標⑭ NPO・企業・地域団体等との連携・協働
- 目標⑮ 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備、児童生徒等の安全確保
- 目標⑯ 各ステークホルダーとの対話を通じた計画策定・フォローアップ

学校教育

「地域に開かれ、地域とともにある学校づくり」の推進

- ・目標⑨ 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上
- ・⑨リード文

学校・家庭・地域が連携・協働することにより、地域社会との様々な関わりを通じて子供たちが安心して活動できる居場所づくりや、地域全体で子供たちを育む学校づくりを推進する。

ICT機器を活用した新たな学びの創出と時代に応じた環境整備

- ・目標① 確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成
- ・目標⑮ 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備、児童生徒等の安全確保
- ・①リード文

学校段階間・学校種間及び学校と社会との連携・接続を図りつつ、各学校段階を通じて、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力、人間性等の確かな学力の育成、幅広い知識と教養、専門的能力、職業実践力の育成を図る。その際、初等中等教育段階においては、同

一年齢・同一内容の学習を前提とした教育の在り方に過度にとらわれず、多様な個々の状況に応じた学びの実現を目指す。

多様性を認める柔軟性とやさしい心の育成

- ・目標② 豊かな心の育成
- ・目標⑦ 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂

・②リード文

子供たちの豊かな情操や道徳心を培い、正義感、責任感、自他の生命の尊重、他者への思いやり、自己肯定感、人間関係を築く力、社会性などを、学校教育活動全体を通じて育み、子供の最善の利益の実現と主観的ウェルビーイングの向上を図るとともに人格形成の根幹及び民主的な国家・社会の持続的発展の基盤を育む。

・⑦リード文

障害や不登校、日本語能力、特異な才能、複合的な困難等の多様なニーズを有する子供たちに対応するため、社会的包摂の観点から個別最適な学びの機会を確保するとともに、全ての子供たちがそれぞれの多様性を認め合い、互いに高め合う協働的な学びの機会も確保することなどを通して、一人一人の能力・可能性を最大限に伸ばす教育を実現し、ウェルビーイングの向上を図る。その際、一人一人が持つ長所や強みに着目し、可能性を引き出して発揮させていくという視点や、多様性の尊重によるマジョリティの変容を重視するとともに、各施策間のつながりを念頭に置いた対応が図られるよう取組を推進する。

主体的に学び、挑戦を続けるたくましい心身の育成

- ・目標④ グローバル社会における人材育成
- ・目標⑤ イノベーションを担う人材育成
- ・目標⑥ 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成
- ・目標⑭ NPO・企業・地域団体等との連携・協働

・④リード文

伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度、豊かな語学力、異なる文化・価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力、新しい価値を創造する能力、主体性・積極性・包摂性、異文化・多様性の理解や社会貢献、国際貢献の精神等を身に付けて様々な分野・地域で国際社会の一員として活躍できる人材を育成する。

・⑥リード文

公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度、規範意識、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度などを養う。

・⑭リード文

NPO や企業、地域団体等との連携・協働により、学校外の多様な担い手による学びの提供や多様な支援体制の確保を図り、学びの多様化や地域等と一体となった活動を推進する。

・⑤リード文

複雑かつ困難な社会課題の解決や持続的な社会の発展に向けて、新たな知を創り出し、多様な知を持ち寄って「総合知」として活用し、新たな価値を生み出す創造性を有して既存の様々な枠を越えて活躍できる、イノベーションを担う人材を育成する。

「楽しい授業づくり」のための教職員の育成と環境整備

- ・目標① 教育 DX の推進・デジタル人材の育成
- ・目標② 指導体制・ICT 環境の整備、教育研究基盤の強化

①リード文

教育において ICT の活用が「日常化」するよう、初等中等教育段階では、基本的方針で示したとおり、当面 DX の第3段階を見据えながら、第1段階から第2段階への移行を着実に進めるとともに、第3段階に相当する先進事例の創出、高等教育におけるデジタル人材育成、社会教育分野のデジタル活用推進等に取り組む。

②リード文

教師の養成、採用、研修の改革や、魅力ある優れた教師の確保・資質能力の向上を進めるとともに、学校における働き方改革の更なる加速化、処遇改善、指導・運営体制の充実を一体的に進める。また、ICT の活用、支援スタッフとの連携・分担体制の構築等を通じて、教師が教師でなければできないことに注力できる体制を整備し、教職の魅力向上、教師のウェルビーイングの向上を目指す。高等教育段階においては、学長のリーダーシップと責任の下、教育研究の質向上に向けた基盤の強化等を行う。

生涯学習

すべての人が楽しく、安心して成長し、活躍できる機会の創出

- ・目標⑧ 生涯学び、活躍できる環境整備
- ・目標⑩ 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進

⑧リード文

人生 100 年時代を見据え、全ての人のウェルビーイングの実現のためにも、人生の各場面で生じる個人や社会の課題の解決につながる学習機会が保障され、学ぶことで充実感を得て継続的な学びにつながるよう、生涯学び、活躍できる環境を整備する。多様な世代への情報提供や学習成果の可視化、仲間とつながりながら学ぶことができる環境整備を図る。

⑩リード文

地域コミュニティの基盤強化に向けて、地域住民の学びの場である社会教育施設の機能強化や社会教育人材養成等を通じ、社会教育を推進する。

「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの発展

- ・目標③ 健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成

③リード文

生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成するとともに、生活習慣の確立や学校保健の推進等により、心身の健康の増進と体力の向上を図る。